

3 病院事業の業務状況

(1) 事業の概要

滋賀県病院事業では、高度専門医療を提供し、県民の健康増進と保健福祉の向上を図るため、次の3病院を運営しています。

病 院 名	診 療 開 始	診療科	病 床 数	建物延面積
総 合 病 院	昭和 51 年 4 月	30 科	535 床	90,746.27 m ²
小児保健医療センター	昭和 63 年 4 月	9 科	100 床	9,444.42 m ²
精 神 医 療 セ ン タ ー	平成 4 年 9 月	4 科	123 床	10,675.87 m ²

○患者の利用状況

令和2年度における県立3病院の利用実績（患者延数）は、入院が184,479人、外来が248,505人で、前年度に比べて、入院は33,165人、外来は22,301人の減少となりました。

なお、各病院の近年の利用状況は、次のとおりです。

●患者数

(単位 人)

区 分		平成 30 年度		令和元年度		令和2年度		
		上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	
総 合 病 院	入 院	患者延数	78,907	80,167	78,434	78,581	67,880	70,406
		1日平均	431.2	440.5	428.6	429.4	370.9	386.8
	外 来	患者延数	99,858	101,683	102,041	99,434	88,006	95,795
		1日平均	805.3	847.4	843.3	835.6	721.4	791.7
小児保健医療 セ ン タ ー	入 院	患者延数	12,032	12,479	13,167	12,565	8,357	9,003
		1日平均	65.7	68.6	72.0	68.7	45.7	49.5
	外 来	患者延数	23,462	23,690	23,021	22,112	20,016	21,388
		1日平均	189.2	197.4	190.3	185.8	164.1	176.8
精 神 医 療 セ ン タ ー	入 院	患者延数	17,662	17,659	17,956	16,941	14,827	14,006
		1日平均	96.5	97.0	98.1	92.6	81.0	77.0
	外 来	患者延数	13,618	12,204	12,019	12,179	11,313	11,987
		1日平均	109.8	101.7	99.3	102.3	92.7	99.1
合 計	入 院	患者延数	108,601	110,305	109,557	108,087	91,064	93,415
		1日平均	593.4	606.1	598.7	590.6	497.6	513.3
	外 来	患者延数	136,938	137,577	137,081	133,725	119,335	129,170
		1日平均	1,104.3	1,146.5	1,132.9	1,123.7	978.2	1,067.5

○建設改良の状況

総合病院で東館の解体工事を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症や医療の高度化に対応するため、県立3病院において、医療機器の整備等を行いました。

② 経理の状況

○予算の補正の状況

令和3年2月定例会議において、入院収益の増加等により事業収益を1,346,839千円増額補正し、材料費の増加等により事業費用を1,325,990千円増額補正しました。また、資本的収入を210,974千円、資本的支出を231,295千円それぞれ減額補正しました。

○令和2年度予算の執行状況

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの予算の執行状況は次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
病院事業収益	25,635,200	—	△ 1,477,069	24,158,131	23,733,990	98.2
医業収益	21,968,332	—	△ 3,947,121	18,021,211	17,672,059	98.1
医業外収益	3,456,568	—	2,171,422	5,627,990	5,552,007	98.6
附帯事業収益	210,300	—	△ 10,187	200,113	201,417	100.7
特別利益	—	—	308,817	308,817	308,507	99.9
病院事業費用	25,560,400	—	△ 223,026	25,337,374	24,131,812	95.2
医業費用	24,529,983	—	△ 543,625	23,986,358	22,879,641	95.4
医業外費用	820,117	—	21,969	842,086	744,720	88.4
附帯事業費用	210,300	—	△ 10,187	200,113	198,944	99.4
特別損失	—	—	308,817	308,817	308,507	99.9

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
資本的収入	1,979,400	938,600	74,023	2,992,023	2,306,780	77.1
企業債	1,948,900	938,600	△ 169,300	2,718,200	2,024,100	74.5
負担金	30,500	—	△ 7,719	22,781	22,781	100.0
補助金	—	—	248,042	248,042	257,134	103.7
諸収入	—	—	3,000	3,000	2,765	92.2
資本的支出	3,940,000	1,001,449	53,622	4,995,071	4,297,758	86.0
建設改良費	2,092,770	1,001,449	64,968	3,159,187	2,461,875	77.9
企業債償還金	1,847,230	—	△ 11,346	1,835,884	1,835,883	100.0

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○企業債の状況

令和3年3月31日現在の企業債の現在高は、23,917,264千円です。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は、医業外収益の増加により対前年度比3.9%増加の23,688,432千円となりました。一方、事業費用は、医業外費用の増加および新型コロナ対応従事者慰労金の支給に係る特別損失の計上により対前年度比1.5%増加の24,094,588千円となりました。この結果、当年度純損失は、前年度より540,023千円減少し、406,156千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比 較 増 減	
			(A)－(B)	(A)/(B) %
事 業 収 益	23,688,432	22,795,934	892,498	103.9
医 業 収 益	17,644,055	19,366,785	△ 1,722,730	91.1
医 業 外 収 益	5,534,508	3,234,858	2,299,650	171.1
附 帯 事 業 収 益	201,362	194,291	7,071	103.6
特 別 利 益	308,507	—	308,507	皆増
事 業 費 用	24,094,588	23,742,113	352,475	101.5
医 業 費 用	22,296,771	22,347,950	△ 51,179	99.8
医 業 外 費 用	1,290,441	1,202,522	87,919	107.3
附 帯 事 業 費 用	198,869	191,641	7,228	103.8
特 別 損 失	308,507	—	308,507	皆増
当年度純利益(△は損失)	△ 406,156	△ 946,179	540,023	42.9

②財務状況

令和2年度末の総資産は、固定資産の増加等により前年度より 698,002 千円 (1.8%) 増加して 39,479,201 千円となり、負債は流動負債の増加等により 1,104,158 千円 (3.3%) 増加して 34,910,189 千円となりました。また、資本は 406,156 千円 (8.2%) 減少し 4,569,012 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	令和2年度	令和元年度	比較増減	科 目	令和2年度	令和元年度	比較増減
固定資産	31,566,532	31,138,420	428,112	固定負債	26,502,474	26,254,661	247,813
流動資産	7,912,669	7,642,779	269,890	流動負債	5,920,442	5,171,619	748,823
				繰延収益	2,487,273	2,379,751	107,522
				負債合計	34,910,189	33,806,031	1,104,158
				資本金	16,415,091	16,415,091	—
				剰余金	△11,846,079	△11,439,923	△ 406,156
				資本合計	4,569,012	4,975,168	△ 406,156
合 計	39,479,201	38,781,199	698,002	合 計	39,479,201	38,781,199	698,002

(3) 令和3年度の事業および予算の概要

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対応と通常診療の両立等県立病院としての役割を發揮し、計画期間を1年延伸した「第四次県立病院中期計画」の理念や基本方針に基づく取組を継続させつつ、効果的・効率的な病院運営に努め収支改善を図り、持続可能な経営を目指します。また、新たな中期計画の策定のための取組、小児保健医療センター・療育部・守山養護学校の一体的整備および総合病院と小児保健医療センターの病院統合の準備を進めるなど将来の医療福祉を見据えた取組を進めます。

総合病院では、新型コロナウイルス感染症に係る重点医療機関として求められる役割を果たすとともに、医療技術が年々高度化する中、最新の知見をいち早く臨床に取り入れるとともに、必要な医療機器を整備し医療機能の充実を図ることで、都道府県がん診療連携拠点病院である当院に対する県民の期待に応えるため、がん診療等の医療機能の充実に取り組みます。

小児保健医療センターでは、一般病院では対応が困難な障害児医療や難治・慢性疾患を中心に全県型医療を提供し、地域医療機関等との連携を図りながら高度専門的医療を推進するとともに、関係部局との連携を図りながら、現在行っている文化財調査の進展等を踏まえ、新センターの実施設計を行うなど小児保健医療センター・療育部・守山養護学校の一体的整備を進めます。

精神医療センターでは、精神医療の拠点病院として、アルコール依存症等中毒性精神障害や思春期精神障害などの専門医療の充実、行政や関係機関・施設等との連携強化を図ります。また、医療観察法病棟について、近畿厚生局と適切な調整を図りながら対象者の受け入れを行うとともに、開かれた病院運営に努めつつ、引き続き適切な医療の提供を行います。

○令和3年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳			
			総合病院	小児保健医療センター	精神医療センター	経営管理課
病院事業収益		25,523,500	19,856,500	3,425,000	2,150,300	91,700
	医業収益	20,405,395	16,335,709	2,615,075	1,365,854	88,757
	医業外収益	4,844,705	3,520,791	536,525	784,446	2,943
	附帯事業収益	273,400	—	273,400	—	—
病院事業費用		25,700,000	19,791,200	3,679,600	2,137,500	91,700
	医業費用	24,656,138	19,101,198	3,348,355	2,114,885	91,700
	医業外費用	770,462	690,002	57,845	22,615	—
	附帯事業費用	273,400	—	273,400	—	—

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳			
			総合病院	小児保健医療センター	精神医療センター	経営管理課
資本的収入		1,592,100	1,486,800	87,800	17,500	—
	企業債	1,555,300	1,454,400	84,900	16,000	—
	負担金	36,800	32,400	2,900	1,500	—
資本的支出		3,726,300	3,288,600	260,200	177,500	—
	建設改良費	1,681,728	1,571,064	91,664	19,000	—
	企業債償還金	2,044,572	1,717,536	168,536	158,500	—

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金で補填します。